

## 随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和元年度大分川・大野川水防災計画検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 大分河川国道事務所長 樋口 尚弘 大分県大分市西大道1丁目1番71号
契約年月日	令和 2年 1月27日
契約業者名	(株) 建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契約金額	24,959,000円(税込み)
予定価格	24,959,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業務場所	大分河川国道事務所管内
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 2年 1月28日
履行期間(至)	令和 2年 7月31日
備考	入札情報サービス(PPI) ( <a href="http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx">http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx</a> ) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

## 契約理由書

1. 業務件名 令和元年度大分川・大野川水防災計画検討業務

2. 履行場所 大分河川国道事務所管内

3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名 2-4-12  
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社  
電 話：092-714-2211

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び  
予算決算及び会計令第102条の4第3号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、洪水時の水防活動に資することを目的に、「重要水防箇所評定基準（案）」に基づき、大分川と大野川の直轄管理区間の重要水防箇所の評定を検討するものである。また、河川整備の進捗を踏まえ水位危険度レベルの見直しを検討する。

2) 業務の内容

計画準備、資料収集整理、現地調査、重要水防箇所検討、特定区間調書及び危険箇所調書更新、水位危険度レベル設定見直し検討、報告書作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を28者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書が提出され、3者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち3者を技術提案書の提出者として選定し、3者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、特定テーマの「大分川と大野川の河川特性を踏まえた重要水防箇所の設定手法について」に対する技術提案における実現性の提案内容について、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

大分河川国道事務所 調査第一課長